



# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

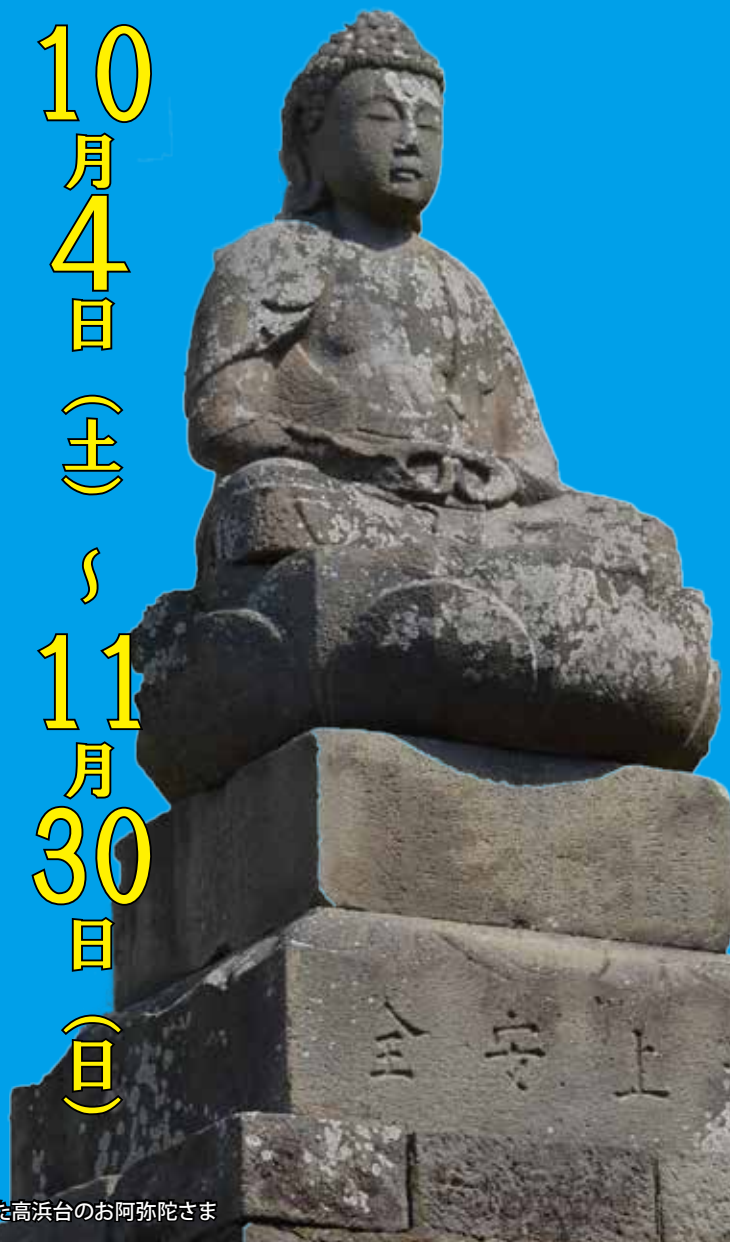
2014.10月号

秋期特別展

## 平塚の石仏

3058の祈りと願い

10月4日(土) ~ 11月30日(日)



博物館のサークル・石仏を調べる会は、昭和五十六年の発足から三十年以上にわたり、平塚市内の信仰目的で建てられた石造物を調査してきました。会でくまなく調べあげ、記録した現存する石造物の総数は三千五十八基にのぼります。この度、その集大成として特別展「平塚の石仏〜3058の祈りと願い〜」を開催します。市内の主な石造物を写真パネルや実物で展示し、三千五十八基の石造物に込められた先人の思いをたずねます。

海上安全を願い建てられた高浜台のお阿弥陀さま

- ◆記念講演会 時間：各回とも 13:30 ~ 15:30 会場：講堂 参加：自由
  - ① 10月12日(日) 「石仏への誘い」 講師：坂口和子氏(日本石仏協会会長)
  - ② 11月16日(日) 「石仏調査からわかること」 講師：小川直之氏(國學院大学教授)
- ◆石仏見学会 講師：石仏を調べる会 参加：はがきに住所・氏名・TEL・希望日を記入してお申込ください。 定員：20名(多数の場合は抽選)
  - ① 10月18日(土) 「須賀の石仏」 9:30 ~ 15:00 場所：札場町・高浜台など 申込締切 10/9(木)
  - ② 11月23日(日) 「大山道周辺の石仏」 9:30 ~ 15:00 場所：南原・豊田本郷など 申込締切 11/13(木)
- ◆平塚の石仏を語る 11月9日(日) 13:30 ~ 16:00 講師：石仏を調べる会 会場：講堂 参加：自由  
石仏の見方・楽しみ方/データベースから見た平塚の石仏/お地蔵さんのご利益と岩船地蔵/平塚の庚申塔/平塚の道祖神/徳本行者とその名号塔
- ◆展示解説 ① 10月26日(日) ② 11月1日(土) ③ 11月29日(土) 時間：13:00 ~ 13:50 会場：特別展示室 参加：自由
- ◆連続講話「石との語らい」 10月21日(火) ~ 10月26日(日) 17:30 ~ 18:30 詳細は3頁参照

# 平成 26 年度博物館学芸員実習報告

当館では博物館学芸員資格取得をめざす実習生を毎年受け入れています。今年度は 17 大学から 19 名を受け入れ、9 月 3 日～ 11 日まで実施しました。実習では実習生による課題発表「平塚市博物館の良いところ、悪いところ」、博物館各分野の資料整理、ワークシートを作る教育普及事業実習、そして、実習生が企画・制作する展示制作実習が実施されました。制作した展示は「平塚ウォッチ～地域の妖怪と幽霊～」と題して、平塚の言い伝えに現れる妖怪（目一つ小僧・天狗）・幽霊（お菊）を紹介しました。



平成 26 年度博物館実習生

「私達は、子供達も興味を持ちそうな題材で平塚への関心を沸かすきっかけを作りたいと思い、平塚の民話・伝承で登場する妖怪・幽霊を取り上げた展示制作を行いました。

制作にあたっては展示物を作る人、文章を書く人など役割分担をして、それぞれが得意な事や出来る事を活かし、互いに補い合いながら展示を作り上げていきました。言い伝えの内容は元の文章では難しい言葉や表現も多く、分かりやすい言い回しにするのが大変でした。悩んで苦労したことも多かったですが、その分完成したときの達成感は忘れられません。」（博物館実習生 宮野 彩）

平成 26 年度考古学入門講座

## 道路と交通

学校で習う日本の歴史は、そのほとんどが政治史と文化史で構成されています。しかし、こうした「歴史」はごく一握りの権力者の動きを伝えているに過ぎません。本当に歴史を動かしてきたのは人口の大多数を占める庶民の活動であり、情報の伝達や物資の移動が血流として機能し、それぞれの活動を結びつけることではじめて歴史は動き出します。その役割を果たす道路の重要性は言うまでもありません。

これまで古墳や貝塚、住居跡などに重点を置いてきた考古学ですが、近年「道路状遺構」にも大きな注意が向けられています。平塚市内でも平成6年に構之内遺跡で大規模な道路跡が発見され、奈良・平安時代の東海道駅路跡と断定されました。

今年度の考古学入門講座は「道路と交通」をテーマに、道路の研究法を確認しながら、平塚市内の調査事例や様々な古道の在り方を2回シリーズで紹介합니다。初心者向けの入門講座ですので、お気軽にご参加ください



道路硬化面サンプルの採取作業  
(東中原E遺跡 サンプルは常設展示中)

開催日 第1回 10月25日(土)  
第2回 11月22日(土)  
時間 午後3時～午後4時30分(開場は午後2時30分)  
会場 博物館1階 講堂  
参加 自由(事前の申し込みは必要ありません)  
定員 50名(当日先着順)

# 寄贈品コーナー「平塚の地盤と活断層」

2011年3月11日の東日本大震災から3年半が経過しましたが、未だ仮設住宅で生活している方々も多く、震災の爪痕の大きさがうかがわれます。相模平野地域でも、平塚市岡崎・真田・根坂間、秦野市南鶴巻、茅ヶ崎市みずきなどで、液状化により砂が噴出したり地盤が沈下したり、地割れが走ったり、ブロック塀が倒壊したり、瓦が落下したり、電柱が傾いたりしました。被害が出たこれらの地域はいずれも台地を刻む小河川の谷戸で、かつての水田地帯であり、厚い軟弱地盤からなっているところでした。この地震を契機に、博物館には、市民の皆様から地盤についての問い合わせが多数寄せられ、地盤に対する感心の高さがうかがえました。こうしたことから、博物館ではたびたび地盤に関する展示を行っています。2007年に刊行した特別展示解説書「平塚周辺の地盤と活断層」と「平塚周辺の地盤図」(25,000分の1)は、展示期間中に売り切れてしまいましたが、要望が多いことから、増刷し受付にて販売しています。ここでは、「平塚の地盤図」を展示し、私たちの暮らす地域の地盤がどんな地形からなり、どのような地層からなっているのか、どういう地盤が軟弱地盤と呼ばれるのか、液状化はどういうところで発生しやすいのか、活断層はどこに走っているのかなど、私たちの住む平塚の地盤について展示します。神奈川県は相模湾を走るプレート境界の北側に位置しており、地殻変動の激しい場所ですから、地震による変動と向かい合っていかなければなりません。この機会に私たちの住む平塚の地盤について、見直していただけたらと思います。



寄贈品コーナー「平塚の地盤と活断層」の展示風景



展示解説書「平塚周辺の地盤と活断層」

## 3年ぶい!! かいき 皆既月食を見よう!

2014年10月8日、3年ぶりに日本各地で皆既月食が見られます。月食は地球の影に月が入り込んで月が隠されて見える現象。特に皆既月食は、月が地球の影にすっぽりと入ってしまいます。では、月が見えなくなってしまうのかというとそうではなく、月がだんだん欠けていって、地球の影に入りきると、赤銅色の月が空に浮かび上がるのです。ところが、月が本当に赤銅色になるかどうかは、その日になってみないとわからないのです。

10月8日は博物館で「星を見る会 皆既月食を見よう!」も開催します。何色の皆既月食が見えるか、ぜひ皆さん自身の目で確かめて下さい!

※月食のしくみなど詳しいことは「星空ニュース」(博物館で配布中)でご案内しています。

2014年10月8日 皆既月食の進み方

| 食の様子     | 時刻        |
|----------|-----------|
| 部分食のはじまり | 18時 14.5分 |
| 皆既食のはじまり | 19時 24.6分 |
| 食の最大     | 19時 54.6分 |
| 皆既食のおわり  | 20時 24.5分 |
| 部分食のおわり  | 21時 34.7分 |

データ提供: 国立天文台 暦計算室

「星を見る会 皆既月食を見よう!」  
日時: 10月8日(水) 18時~21時  
(途中参加・早退可)  
会場: 博物館 屋上 参加: 自由

## 秋のイブニング・ミュージアム・ウィーク

期間: 10月21日(火) ~ 10月26日(日)

期間中、開館時間を午後7時まで延長(入館は6時30分まで)します。期間に合わせて開催中の、特別展「平塚の石仏」にちなみ、「石との語らい」をテーマとした各分野の学芸員の連続講話とプラネタリウムの特別投影も行います。どうぞお立ち寄りください。

### ★連続講話「石との語らい」

時間: 午後5時30分~午後6時30分

定員: 各日50名 参加: 自由・無料

21日(火)「街の中の石材」 場所: 講堂

22日(水)「石とコケー景色を彩る小さな緑ー」 場所: 講堂

23日(木)「石の遺跡ーグーグルアースの旅ー」 場所: 講堂

24日(金)「3058基の石仏年表」 場所: 講堂

25日(土)「平塚の石仏の石工と石材流通」 場所: 講堂

26日(日)「太陽系のロゼッタストーン」 場所: プラネタリウム室

### ★プラネタリウム特別投影

「国際科学映像祭ドームフェスタ2014人気上位作品」

内容: 国際科学映像祭ドームフェスタ2014の作品より、人気の高いものを毎日1作ずつ、合計6つの作品を上映します。

(毎日作品が変わります)

投影日: 10月21日(火) ~ 26日(日)

時間: 午後4時から(約30分) 観覧料: 無料

